



# 飯能ロータリークラブ会報



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

## ロータリー：変化をもたらす

RI会長 イアンH.S.ライズリー

2570地区ガバナー 細井保雄

第3グループ  
ガバナー補佐 木川一男

### 「RI戦略計画を皆で一緒に実行しよう!!」

## 第2769例会 2017. 9. 13

—— 基本的教育と識字率向上月間 ——

天候 晴 (NO. 54-11)

会長 和泉由起夫 幹事 土屋良一

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 大野(泰)君、奥富君

例会場：ホテル・ヘリテイジ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 和泉会長
- ・ソング 我等の生業
- ・米山記念奨学生 ラービアッザリさん
- ・卓話 今井直己様

### 【会長報告】

今年度も早2か月を過ぎました。公式訪問も終わり第一の関門を通過。皆様のご協力の賜です。有難うございます。

先週土曜、国立女性教育会館にて第1回R財団部門セミナー、RLI研究会が開催。RLIは島田エレクト、馬場副幹事、大野(泰)会員が強行カリキュラムの中、勉強されました。

R財団セミナーでは、坂本俊雄ドクター(東京八王子南RC)が基調講演。ポリオ撲滅のゾーンコーディネーターとしてアフガニスタン、パキスタンへ視察に行かれました。85年からポリオ撲滅が正式スタート。15年程で豪州、アジア、西太平洋地区で撲滅。04年、アフリカ23か国で接種実施。16[17]年時点でアフガニスタン13[5]人、パキスタン20[3]人。もう少しで完全撲滅なのですが、ロシアの侵攻等で、アフガニスタンからパキスタンへまた、その逆へと、遊牧民ですので子ども達へのワクチンを接種が困難を極めたそうです。

15、16年の20か月の内に、タリバンやIS、部族や宗教の問題で、接種を担当するポリオワーカー80人が殺された。坂本氏も警備兵を付けて視察したとの事。ひと言で「ポリオプラス」と言うが達成には大変な苦労がある。RCの先人達にも大変な苦労があったと思います。16年までに1億3000万ドル、19年までは6億ドル必要で、日本政府も5億6000円をユニセフ、RIに拠出している。ワクチン代より人件費に莫大な金が掛かる。危険地域で人

を確保するのも至難の業。日本のロータリアンが拠出する1人平均の額「25ドル」は世界に比べ低過ぎるとおっしゃっておいりました。ザリさんに奨学金を贈呈します(拍手)。



◎ザリさん：先月、秩父音頭まつりに参加しました。最初先生が教えてくれて、奨学生と校友会の皆で踊りました。テレビで見た事はありませんでしたが実際に踊るとは考えた事ありませんでした。伝統的な日本の踊り方を踊るチャンスがあるのは本当に素晴らしいです。米山のお蔭だと思いました。人生で忘れる事の出来ないいい経験だったと思います。今も就活頑張っています。有難うございました。

### 【幹事報告】

◎例会変更のお知らせ

◇新狭山RC

- ・9/25(月) 例会取止め 定款8-1-C
- ・10/9(月) 例会取止め 定款8-1-C
- ・10/16(月) 例会取止め 定款8-1-C
- ・10/30(月) 例会取止め 定款8-1-C
- ・11/13(月) 映画会『武蔵野』11(土)に変更
- ・11/27(月) 例会取止め 定款8-1-C
- ・12/11(月) 例会取止め 定款8-1-C
- ・12/25(月) 年末親睦例会

### 【委員会報告】

◎RLIセミナー

大野(泰)君

RLI研究会による60分×6コマの授業を3名で受けて参りました。

◎親睦活動委員会

大崎君

10/25(水)夜間例会(大松閣)津軽三味線の豪快な響きをお楽しみ頂きます。ご出席よろしくお願ひ致します。10/12懇親ゴルフコンペ大会の出欠をお願ひします。

【出席報告】無届欠席0 馬場出席向上委員

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
57名	6名	52名	91.23%	96.49%

### 【M U】

9/9 (地区) 木川君、和泉君、島田君、馬場君  
大野(泰)君

9/12 (入間南) 木川君、神田(敬)君、坂本君  
(地区) 中里(忠)君

### 【結婚・誕生日祝】 加藤親睦活動委員

◇結婚記念日おめでとう

大野(泰)君、大野(康)君、藤原君

◇会員誕生日おめでとう

4 木川君、9 中山君、19 土屋(良)君

22 神田(敬)君、28 土屋(崇)君

◇夫人誕生日おめでとう

11 大野(泰)夫人、23 森夫人、28 和泉夫人

### 【SAA報告】

#### ◎ニコニコBOX

・今井教育長さんようこそ！本日は卓話より  
しくお願い致します。細田(吉)君、矢島(巖)君  
新井君、半田君、吉島君、吉田(武)君、間邊君  
田辺君、高橋君、土屋(良)君、吉田(行)君  
馬場君、大野(康)君、吉澤君、前島君、伊澤君

・お誕生日お祝い有難うございます。

木川君、土屋(良)君、土屋(崇)君、神田(敬)君

・結婚お祝い有難うございます。高2砲丸娘インター  
ハイ優勝、県知事表敬訪問しました。大野(康)君

・早退 半田君

本日計 41,000 円、累計額 186,001 円。

◎ 20 日例会当番は齋藤、島田会員です。

### 【卓話】

講師紹介 伊澤青少年奉仕委員長

S59年、飯能市役所に入職。商工観光課長、  
市街地活性化推進課長、産業振興課長、教育部  
長、議会事務局長を歴任。H28年10月、教育  
委員会教育長に就任。元ホッケー日本代表選  
手としてもご活躍。トヨタ自動車社長の豊田  
章男氏ともチームでプレーしていたそうです。

## 次代を担う子どもたちのために

飯能市教育委員会 教育長 今井直己様

飯能RC様には日頃より大変お世話になって  
おります。心から感謝申し上げます。

全国の小中学校でさまざまな事が起きていま  
す。いじめによって自らの尊い命を絶つ、暴行、教  
職員の不祥事等。本市でも同様の状況で、これら  
の課題について特に学校・家庭・地域との連携と  
行政を含めての支援態勢についてお話したい。次  
代の担い手として子ども達が力強く成長していく  
ための方法を一緒に考えて頂ければと思います。

### 《1 子どもたちの自己肯定感を育む》

諸外国と比べ、日本の子どもの「自己肯定感」  
(自分の在り方を積極的に評価出来る、自らの価値  
や存在意義を肯定出来る感情)は低いとされる。  
世界で地域で活躍出来る人材となれるかどうか  
はこの自己肯定感に大きく関係する。「教育再生  
実行会議」(H25年1月15日、設置が閣議決定)  
の第10次提言(今年6月)でも自己肯定感を育む事  
が重要だと示されました。勉強やスポーツを通じ  
自らの力の向上に努力する事で得られる達成感、  
他者からの評価等を通じて育まれる自己肯定感。



自らのアイデンティティーに  
目を向け、長所のみならず  
短所を含めた自分らしさや  
個性を冷静に受け止める事  
で自己肯定感の2つの側面  
が捉えられる。1) 勉強や  
スポーツに挑戦し成功や失  
敗を繰り返し、ある種たくま  
しさを身に付ける事は人生  
を生き抜く上で糧となる。

2) 他者からの指摘によっ  
て自分が意識していなかった部分を知る。長所短所  
を自分の中でよく理解し、自分らしさを見失う事  
なくリラックスして臨む。提言では自己肯定感を  
バランス良く育む事が求められています。国は次  
期学習指導要領の中で「主体的・対話的で深い  
学び」を視点とした授業作りを進める方針です。

積極的に発言し、しっかり他人の意見を聴き、  
さまざまな考えがある事を理解する力を身に付け  
その中で自分の考えをまとめていく。こうした事  
を通し、子ども達が成長していく事を基本に考え  
市内の小中学校でも授業改善を行っていきます。

昨年教育長に就任し、「**スポーツの力を教育に**」  
と校長にも伝えていきます。仲間と頑張り続ける力、  
忍耐力、チームワーク、向上心、フェアプレイ精神  
…スポーツを通じて学ぶところが多い。努力すれ  
ば力も付き自信も持てる→自己肯定感が高まる。  
原市場出身の大野さんがインターハイ優勝され  
ましたが、特に今年は飯能市の中高校生が全国で  
活躍した年でした。良い点を褒める、悪い事はき  
ちんと叱る。是非よろしくお願ひしたい。

### 《2 学校が抱える課題は複雑化・困難化している》

H25年6月「いじめ防止対策推進法」制定。  
本市でも基本方針を策定し、「いじめ問題対策連絡  
協議会」「いじめ問題専門委員会」の設置、「いじめ  
ゼロ子ども会議」開催、定期的なアンケート実施  
等行っているがいじめは毎年発生している。周り  
の者も止めようとしなない。「許さない」という意識を  
持たなければいけない。今後は小中学校の道徳  
が教科化されます。

不登校の子どもは全国に17万人(H27年)。飯  
能には40名程居ります。非行は中学校で悪質な  
案件も発生、警察等と連携を深めながら対応しな  
ければいけないが、小さいうちからの家庭教育を  
同時に考えていかなければいけない。

スマートフォンの普及でネット上のいじめがエ  
スカレート、学校現場ではネット対応を含め困難  
さが増している。教員の負担軽減の視点からも対  
応を整理していかなければいけない。「むかつく」  
「死ぬ」という言葉、悪口がコミュニケーションの1  
つの方法となっている。大人がしっかり指導して  
いかねばならない。

### 《3 学校、家庭、地域の役割分担と教育力の向上について》

日本は「知・徳・体の一体的な教育」が特徴。  
全て学校に責任・役割があるという誤った認識が  
生じ易い。自助・共助・公助の中で公助のみに頼る  
ような状況もある。学校・家庭・地域の三者がそれ  
ぞれの立場で積極的に関わる事が必要。

【学校教育】「チーム学校」組織力強化。教員の  
資質向上。相談体制の充実。外部人材の活用。一  
人ひとりへのきめ細かい指導。【家庭の教育力】  
生活習慣、自立心、心身の調和のとれた発達を図  
る。子どもと向き合う余裕の無い世帯への支援。

【地域の教育力】地域の大人と触れ合い、地域の  
行事への参加。「地域の一員」という意識を養う。

行政としての支援策を考え、具体的な行動を起  
こしていく。しっかり取り組んでいく決意ですの  
でご協力をよろしくお願ひします。